



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社

上場取引所 東

コード番号 8006 URL <http://www.yuasa-funashoku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 諸澤 隆芳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 黒坂 幸夫

TEL 047-433-1212

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	82,055	△2.1	1,293	15.1	1,465	13.9	732	23.9
24年3月期第3四半期	83,795	△2.5	1,123	△20.6	1,286	△12.9	591	△27.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 861百万円 (18.0%) 24年3月期第3四半期 729百万円 (59.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	15.93	—
24年3月期第3四半期	12.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	49,749	23,333	46.1	498.85
24年3月期	46,245	22,830	48.6	488.52

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 22,944百万円 24年3月期 22,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	8.00	8.00
25年3月期	—	—	—		
25年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,000	△1.7	1,700	3.5	1,900	1.7	900	△19.0	19.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	48,977,231 株	24年3月期	48,977,231 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	2,982,896 株	24年3月期	2,979,237 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	45,997,515 株	24年3月期3Q	46,001,456 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10
5. 補足情報	11
(1) 販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、東日本大震災の復興需要などから、緩やかに回復しつつありましたが、欧州債務危機による海外経済の減速や日中関係の悪化から輸出が減少するなど、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

食品流通業界におきましては、生活者の先行き不安から消費マインドが低迷し、節約・低価格志向が継続するなど、引き続き厳しい環境に推移しました。

ビジネスホテル業界におきましては、利用客は順調に回復しましたが、首都圏エリアでの競争は厳しい状況が続きました。

このような状況の中で当社グループは、首都圏を基盤に地域に密着した営業を展開してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高820億55百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益12億93百万円（前年同期比15.1%増）、経常利益14億65百万円（前年同期比13.9%増）、四半期純利益7億32百万円（前年同期比23.9%増）となりました。

事業別セグメントの概況

①商事部門

商事部門におきましては、消費が伸び悩み中、低価格志向が継続し、業種・業態を超えた企業間競争は一段と厳しさを増しました。

このような中、商品供給を的確に行う中で、新規取引の開拓に努めてまいりました。

部門別の売上高は、食品では冷凍・チルド商品は引き続き増収となりましたが、菓子は前年同期並み、加工食品、酒類は震災特需の反動もあり減収となりました。業務用商品では小麦粉、油脂ともに販売数量は堅調に推移しましたが、小麦粉の販売価格の改定により減収となりました。飼料畜産では飼料は10月以降、販売数量が回復したことにより増収となり、畜産は成豚の取り扱い数量が回復したこと、業務用食肉の販売の取組みなどから増収となりました。米穀では相場が高値で推移する中、末端での店頭価格も上昇したことなどから、販売数量が伸び悩み減収となりました。

その結果、商事部門全体の売上高は788億27百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は10億73百万円（前年同期比13.1%減）となりました。

②ホテル部門

ホテル部門におきましては、震災の影響により大幅に減少した前年同期から着実に回復し、各ホテルとも利用客が増加しました。中国、韓国からの訪日外国人客は減少しましたが、稼働率、客室単価とも震災前の水準に戻りつつあります。

その結果、売上高は26億60百万円（前年同期比14.1%増）、営業利益は3億34百万円（前年同期比167.0%増）となりました。

③不動産部門

不動産部門につきましては、賃貸料収入として売上高は5億67百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は4億57百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ35億4百万円増加し497億49百万円となりました。その内容は、流動資産の増加34億54百万円で、その主な要因は現金及び預金の増加12億10百万円、受取手形及び売掛金の増加16億17百万円、商品及び製品の増加6億28百万円等によるものです。

負債は、30億1百万円増加し264億16百万円となりました。その内容は、流動負債の増加31億57百万円、固定負債の減少1億55百万円で、その主な要因は支払手形及び買掛金の増加30億33百万円によるものです。

純資産は、5億2百万円増加し233億33百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加3億62百万円などによるものです。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは20億65百万円（前年同期比25億88百万円増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益14億37百万円、売上債権の増減額△15億92百万円、仕入債務の増減額29億94百万円、法人税等の支払額△5億47百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは△5億44百万円（前年同期比4億15百万円減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出△4億13百万円、投資有価証券の取得による支出△1億83百万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは△3億10百万円（前年同期比4億23百万円増）となりました。これは主に配当金の支払額△3億67百万円などによるものです。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物四半期末残高は、前連結会計年度末から12億5百万円増加し41億71百万円（前年同期比14億83百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降も当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、平成24年11月6日に公表いたしました連結業績予想につきまして変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,080	4,291
受取手形及び売掛金	14,063	15,680
有価証券	0	0
商品及び製品	1,255	1,884
仕掛品	36	33
原材料及び貯蔵品	881	633
繰延税金資産	66	46
未収入金	2,585	2,859
その他	74	77
貸倒引当金	△89	△96
流動資産合計	21,955	25,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,450	13,480
減価償却累計額	△8,979	△9,212
建物及び構築物(純額)	4,470	4,267
機械装置及び運搬具	1,859	1,904
減価償却累計額	△1,563	△1,625
機械装置及び運搬具(純額)	295	279
土地	10,594	10,546
その他	1,394	1,787
減価償却累計額	△1,126	△1,176
その他(純額)	268	610
有形固定資産合計	15,630	15,704
無形固定資産		
ソフトウェア	25	47
その他	163	151
無形固定資産合計	188	199
投資その他の資産		
投資有価証券	4,734	5,022
長期貸付金	456	436
繰延税金資産	762	467
差入保証金	2,510	2,505
その他	322	290
貸倒引当金	△315	△286
投資その他の資産合計	8,471	8,435
固定資産合計	24,289	24,339
資産合計	46,245	49,749

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,345	18,379
短期借入金	3,999	4,299
未払法人税等	218	111
賞与引当金	93	26
災害修繕引当金	6	—
その他	1,428	1,433
流動負債合計	21,091	24,249
固定負債		
社債	25	20
長期借入金	809	685
退職給付引当金	634	652
役員退職慰労引当金	21	23
負ののれん	8	5
長期未払金	186	171
その他	636	609
固定負債合計	2,322	2,167
負債合計	23,414	26,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,576	5,576
利益剰余金	11,803	12,166
自己株式	△624	△625
株主資本合計	22,354	22,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116	227
その他の包括利益累計額合計	116	227
少数株主持分	359	389
純資産合計	22,830	23,333
負債純資産合計	46,245	49,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	83,795	82,055
売上原価	75,785	73,974
売上総利益	8,010	8,081
販売費及び一般管理費	6,886	6,788
営業利益	1,123	1,293
営業外収益		
受取利息	21	20
受取配当金	101	106
デリバティブ評価益	—	14
その他	101	89
営業外収益合計	223	229
営業外費用		
支払利息	41	40
為替差損	9	4
その他	8	12
営業外費用合計	60	57
経常利益	1,286	1,465
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
災害修繕引当金戻入額	5	—
資産撤去費用見積改定額	17	48
特別利益合計	22	48
特別損失		
固定資産処分損	2	13
減損損失	4	19
投資有価証券評価損	267	43
東日本震災損	15	—
特別損失合計	289	77
税金等調整前四半期純利益	1,020	1,437
法人税、住民税及び事業税	207	432
法人税等調整額	216	254
法人税等合計	424	687
少数株主損益調整前四半期純利益	595	750
少数株主利益	4	17
四半期純利益	591	732

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	595	750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134	110
その他の包括利益合計	134	110
四半期包括利益	729	861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	725	843
少数株主に係る四半期包括利益	4	17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,020	1,437
減価償却費	501	375
減損損失	4	19
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△68	△67
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13	17
長期未払金の増減額 (△は減少)	△35	△14
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△0	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10	△22
災害修繕引当金の増減額 (△は減少)	△65	△6
受取利息及び受取配当金	△122	△126
支払利息	41	40
投資有価証券評価損益 (△は益)	267	43
有形固定資産除売却損益 (△は益)	2	13
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,249	△1,592
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,178	△355
その他の資産の増減額 (△は増加)	△343	△282
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,678	2,994
その他の負債の増減額 (△は減少)	△26	△23
その他	△125	73
小計	323	2,525
利息及び配当金の受取額	121	127
利息の支払額	△42	△40
法人税等の支払額	△926	△547
営業活動によるキャッシュ・フロー	△523	2,065
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△104	△413
有形固定資産の売却による収入	12	21
有形固定資産の除却による支出	△0	△2
投資有価証券の取得による支出	△52	△183
投資有価証券の売却による収入	0	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	23
貸付金の回収による収入	20	19
その他	△4	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△129	△544
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30	105
長期借入れによる収入	557	300
長期借入金の返済による支出	△794	△229
配当金の支払額	△368	△367
その他	△97	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー	△733	△310
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,395	1,205
現金及び現金同等物の期首残高	4,083	2,965
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,687	4,171

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	80,895	2,332	568	83,795	—	83,795
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	6	—	28	35	(35)	—
計	80,901	2,332	597	83,831	(35)	83,795
セグメント利益	1,234	125	472	1,832	(709)	1,123

(注) 1. セグメント利益の調整額△709百万円には、のれん償却額△6百万円、各報告セグメントに配分していない
全社費用△707百万円、その他4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない
総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	78,827	2,660	567	82,055	—	82,055
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	13	—	33	46	(46)	—
計	78,840	2,660	600	82,102	(46)	82,055
セグメント利益	1,073	334	457	1,864	(571)	1,293

(注) 1. セグメント利益の調整額△571百万円には、のれん償却額△7百万円、各報告セグメントに配分していない
全社費用△568百万円、その他4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない
総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年12月31日まで)	前年同期比
食品（酒類・飲料含む）	53,802	52,464	97.5
業務用商品	12,196	11,189	91.7
米穀	7,295	7,064	96.8
飼料・畜産	7,600	8,108	106.7
商事部門計	80,895	78,827	97.4
ホテル部門	2,332	2,660	114.1
不動産部門	568	567	99.8
合計	83,795	82,055	97.9